

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	英語
第 1 推薦	2 東書
第 2 推薦	9 開隆堂

(英語) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> 目次に各 Unit の「活動目標 (GOAL)」を提示している。 単元である Unit ごとに目標を提示している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> 「GOAL」として、単元の最初に目標を設定し、単元末に「CHECK」として、「題材」と「活動」について 4 段階で評価するようにしている。 巻末に「学習を振り返ろう CAN-DO リスト」を設定し、各学年の 5 領域別の学習到達目標を Stage 1～Stage 3 まで示し、4 段階で評価するようにしている。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> Unit 0 それぞれの場面の活動をしよう 英語の音と文字 *Unit 1～小学校既習事項には「小」のマークがついている (p.10「小学校の単語」) *p. 121 までは小学校外国語教育教材と同じフォントを使用している。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> 「資料編」として、次の資料を掲載している。(pp.128～159 : 32 ページ分) 名作鑑賞、小学校の単語、Word List など
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> 4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動として、Unit Activity と Stage Activity を設定している。 Stage Activity1 : My Activity Report (pp.48～50) (テーマ) これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。
9 開隆堂	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> 単元である PROGRAM ごとに目標を提示している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ”Goal”として、単元の最初に目標を、単元内に振り返りを設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 巻末資料に「英語で『できるようになったこと』リスト」として、5 領域別に学習到達目標を設定し、達成していれば日付を記入するようにしている。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> Get Ready1-4 ようこそ！みらい中学校へ ・みらい中学校の仲間たち 新しい仲間インタビューしよう ・自分のことを友達に知ってもらおう PROGRAM 0 アルファベットを確かめよう ・つづり字と発音 * 1 年生の前半は (p. 52 まで)、小学校外国語教育教材と同じフォントを使用している。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。(pp.126～159 : 34 ページ) 英語の音声、英語のつづり字と発音、短縮形のまとめなど
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> 4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動として、Our Project を設定している。 Our Project8 : あなたの町を世界に PR しよう (pp.85～89) (テーマ) 世界に PR したい町にあるものや場所を発表する。

16 三省堂	観点1	・単元である Lesson の活動ごとに領域別の目標を提示している。
	観点2	・巻末に、「What Can I Do?」として、CAN-DO リストを示し、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。
	観点3	・Hello、 Everyone! ・Starter1～3 ・英語の文字と音 ・コミュニケーションを楽しもう (1) (2) *Lesson1～3 小学校で体験した場面で話される会話を聞く・話すから始まっている (p.17)
	観点4	・「付録」として、次の資料を掲載している。(付録1～50: 50ページ分) つづりと発音、基本文のまとめ、いろいろな単語など
	観点5	・4技能5領域を統合的に活用させる言語活動として、Project を設定している。 Project1: 日本限定のアイスクリームを提案しよう (pp.32～33) (テーマ) 日本限定のアイスクリームのアイデアを考え、提案する。
17 教出	観点1	・単元である Lesson 中の Part ごとに目標を提示している。
	観点2	・単元末に振り返りを設定している。 ・付録に「Can-Do 自己チェックリスト」を示し、5領域別の学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。
	観点3	・Springboard1・4 ・Nice to meet you! ・さまざまな会話 ・音声から文字へ ・Sugoroku *Lesson1・3 身近な生活に則したコミュニケーション活動を重視している。 *Word List (p. 148～p. 151) の中に、小学校で学習したとみなした語を意味別グループで示している。
	観点4	・「巻末資料」として、次の資料を掲載している。(pp.130～167: 44ページ分) 語形変化のまとめ、辞書についていっしょに学ぼう、重要構文復習リストなど
	観点5	・4技能5領域を統合的に活用させる言語活動として、Project を設定している。 Project1: CM をつくって発表しよう! (pp.40～41) (テーマ) あったら良いと思う商品やサービスについてCMを作り、発表する。
38 光村	観点1	・単元である Unit ごとに関連する領域別の目標を提示している。
	観点2	・「Goal」として、単元の最初に領域別の目標を、設定している。単元の最後に、振り返りを設定している。 ・巻末付録に、CAN-DO List を示し、5領域別に学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。
	観点3	・Let's Be Friends!1-7 ・言葉で人とつながろう ・好きなものでつながろう ・世界のどこかへ行ってみよう ・数字を聞いて動物を探し出そう ・誕生日をたずね合おう ・アルファベットを聞いて書こう ・英語の音とつづりを確かめよう *Unit3 までを、準備期間として文字を読む負担を減らしている。 *Word List (p. 158) の中に、小学校で学習した語を花びらマークで示している。
	観点4	・「付録」として、次の資料を掲載している。(p. 3 参照: 9ページ分) リスニングを得意にしよう、話す内容を確認しよう、英文を読むコツをつかもうなど
	観点5	・4技能5領域を統合的に活用させる言語活動として、各単元に Goal を設定している。 You Can Do It!2: 学校に必要なものと考えて意見を伝えよう (pp.48～49) (テーマ) 学校に必要なものについて考え、ディスカッションする。
61 啓林館	観点1	・単元である Unit の Part ごとに目標を提示している。
	観点2	・単元の最初に単元の目標を設定している。 ・巻末に「Can-Do リスト」として、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。

観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Start1—7 ・ 学校での会話を聞こう ・ 町での会話を聞こう ・ アルファベットを読み書きしよう ・ 英語の文字が表す音を聞こう ・ 英語の文字が表す音に慣れよう ・ 数字を聞いて使ってみよう ・ 英語を聞いて使ってみよう <p>* 小学校英語でも採用されている 5 : 6 : 5 の 4 線を使用</p>
観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「付録」として、次の資料を掲載している。(p.3 参照 : 4 ページ分) こんなときどう言うの? メール、ジェスチャーなど
観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 技能 5 領域を統合的に活用させる言語活動として、Project を設定している。 <p>Project2 : 日本の伝統行事を紹介しよう (pp.90~91) (テーマ) 紹介したい日本の伝統行事について、紹介文を書く。</p>